

令和7年度第1回旭川市音楽堂等運営協議会 会議録

- 【日 時】 令和7年11月13日（木） 午後6時30分～午後8時20分
【会 場】 旭川市大雪クリスタルホール 1階 第1会議室
【出席者】 委員：上野委員、杉江委員、内藤委員、小林委員、福村委員、水野委員、
熊谷委員、筒井委員、倉田委員、仲島委員
市側：田村社会教育部長、吉川文化ホール担当課長、
齋藤大雪クリスタルホール館長、辻村係員、競係員、松島係員
【傍聴者】 なし
【会議資料】 ・令和7年度第1回旭川市音楽堂等運営協議会議案書

【会議要旨】

- 1 開 会
- 2 社会教育部長挨拶
- 3 会長副会長選出
会長に杉江委員、副会長に水野委員を選出
- 4 議 事
 - (1) 令和6年度及び令和7年度上半期利用状況について
〈議 長〉議事（1）について、事務局から説明願う。
〈事務局〉議案書の1ページから3ページまでの資料に基づき説明。
〈議 長〉議事（1）について、意見等の発言を願う。
〈委 員〉コンサート室の学校での授業の利用率が下がっているとのことだが、今後は減少の傾向が続くのか、それとも上がる状況なのか。
〈事務局〉これは学校の授業ではなく、学校単位での演奏会の件数と捉えている。実態は把握できないが、おそらくコロナ禍を機に自校で演奏会を開催する学校が増えていると考えられる。
〈委 員〉今まで大きい会場を使っていたものが、小さい単位でできる授業しかやっていないということになるか。
〈事務局〉発表の場として、音楽堂という音響に優れた施設があるので、そういうところで聞かせようという学校側の考え方はあると思うが、学校には体育館があるので、そこで開催することは可能と思われる。
〈委 員〉6月の利用は菓子博が開催されたためほぼゼロに近かったと思う。せっかくの機会だったので、菓子博主催者とクリスタルホールで話し合ってコンサートを行うという方法も取れたのではないか。
〈事務局〉その期間は主催者が全館利用していたので、他の団体に貸すことができない状態だった。クリスタルホール側からは使用方法について強くは言えないが、今後そういった催事があるときには主催者に助言はしたいと思う。
〈委 員〉学校関係の研修などは1年以上前から計画しているが、会議室の使用申請が3か月前からなので計画が立てにくい。条件を緩くできないものか。
〈事務局〉コンサート室、大会議室、レセプション室の申込みは1年前から、小さい会議室は3か月前からだが、大会議室等と併せて使うことであれば1年前から申し込みが可能。ただし1年前の一次受付で申込みが重なった場合は抽選になる。市が主催であったり、国際的・全国全道規模の催事で公共性のある事業であれば1年前からも受け付けている。現状、申込み方法を変えるのは難しいと考えている。
 - (2) 令和6年度決算及び令和7年度予算の概要について
〈議 長〉議事（2）について、事務局から説明願う。
〈事務局〉議案書の4ページに基づき説明。
〈議 長〉議事（2）について、意見等の発言を願う。

- 〈委員〉令和6年度決算のクリスタルホール管理費の支出に対して、使用料収入の割合は13.8%で、これはかなり低いのではないかと。申込み方法等を改善するなど、使用料収入の増につなげることはできないものか。
- 〈事務局〉燃料費や委託業務など管理運営に係る基本的な支出額が大きい中で、使用料収入を増やしていく取組は重要だと思っている。
- 〈委員〉自主文化事業の入場料収入の割合が34%と低く、その理由として自主文化事業が決まった後に市民文化会館で著名の方のコンサートが入り、集客が厳しかったとの説明があったが、文化会館は相当前から申し込まないと使えないのではないかと。
- 〈事務局〉この著名な方のコンサートは平日開催だった。土日祝日は稼働率が高いが、平日であれば使用できることもある。クリスタルホールの大会議室等は平日も稼働率が高いが、コンサート室については平日は低い状況にある。
- 〈委員〉自主文化事業費について、令和7年度は予算の段階では入场料収入ほぼ100%を見込んでいるが、これまでの入场料収入は何%くらいになるのか。もし例年も30~40%なのであれば、令和7年度予算101%は適正な設定なのだろうか。
- 〈事務局〉予算の段階では、チケット収入で事業費を賄うという組立てをしなければならない。令和7年度については石田泰尚さんのヴァイオリン・リサイタルが2週間で完売するなど、令和6年度の入場料収入割合は超えるとみている。
- 〈委員〉自主文化事業について、PRの仕方について考えていかないと集客は難しい。どのように力を入れていくか伺いたい。
- 〈事務局〉単純にチラシを配るとか新聞に広告を載せるだけではなく、子どもが対象ならば幼稚園・保育所、ピアノのコンサートであればピアノ教室、若者をターゲットにするならフリーペーパーに掲載するなど、これまでもやってきているが知恵を出しながら工夫していきたい。何か良いPRの方法があれば、是非お知らせいただきたい。
- 〈委員〉クリスタルホール正面にあるモニュメントを修繕する予定はあるか。
- 〈事務局〉クリスタルホールは築30年以上となり、施設を安定的に運用するための改修を中心に行っていかなければならない時期に来ている。モニュメントも大切であるが、非常に精密な機械で、改修には相当な金額がかかることが予想され、優先順位は低くせざるを得ない。

(3) 令和7年度自主文化事業実施状況について

- 〈議長〉議事(3)について、事務局から説明願う。
- 〈事務局〉議案書の5ページに基づき説明。
- 〈議長〉議事(3)について、意見等の発言を願う。
- 〈委員〉自主文化事業の出演者をどういう観点で選んでいるのか。例年、一般向け、子ども向け企画、制作型の3本を続けているが、出演者の選定方法に疑問がある。特に制作型については、赤字が出ないように、連盟や団体と連携しながら自主文化事業を作っていくのはどうか。
- 〈事務局〉毎年の公演回数について決められたものはないが、近年は、子どもにも音楽堂に親しんでもらうため子ども向けが一つ。一般向けが一つ。市内近郊で活躍されている演奏家の方に焦点を当て、ワークショップを含めた形で公演をお願いする制作型、この3公演に取り組んでいる。
- 基本的にはアンケートを参考にして出演者を選定するという方法を採用しているが、予算の関係もあり、収支を合わせなければならないため、高額な出演料が必要な方は難しい。ただアンケートに頼るだけではなく、クリスタルホールとしてどのような目的で開催するのかということも考えていかなければならず、その一つとして来年度は若い人の来場を増やすための出演者の検討をしている。入场料収入の確保も重要な要素であるため、今後、制作型については音楽関係の団体の

協力を是非お願いしたい。

〈議長〉制作型を依頼するプロセスはどのようになっているのか。

〈事務局〉クリスタルホール等で演奏実績のある皆さんに注目し、演奏する楽器が連続しないよう年度間のバランスを考えて声掛けをしている。

〈議長〉制作型委託公演があるということは、市民演奏家が活躍できる可能性が出て非常に活気づいて良いと思う。

〈委員〉自主文化事業があるときは委員を招待して見てもらい、その後集まって反映させるものだと思っている。今回委員に案内がないまま終わった公演があるが、それに関して説明が欲しい。

〈事務局〉委員の皆さんに事業を見てもらい、意見をいただくことの重要だと思っている。今回、予想を超えて発売から短期間で完売してしまった公演があり、席を確保できなかったことについてお詫びする。今後は委員の皆さん分については事前に確保していく。

〈委員〉各事業の広報について、ホームページへの掲載または情報誌の発行以外ではどのようなことをしているか。

〈事務局〉チラシの公的な施設への配布や新聞広告を掲載しているほか、Facebook や X の SNS での発信をしている。

〈委員〉若い人向けの広報という点では Instagram ことでそういったところにも力を入れていかないと、なかなか届かないのかなと思う。

2週間で完売した公演に関しては、他の公演と比べて告知が良かったのか、純粋にコンテンツが強かったのか。

〈事務局〉コンテンツの魅力が大きかったと思う。

〈委員〉出演者サイドの発信が大きかったこともあるか。

〈事務局〉クリスタルホールのアンケートでも出演希望がとても多い方だったので、開催を決めた時点で、かなりの集客は見込んでいた。

アンケートはもちろん大事だが、色々な情報を収集していき、集客が見込める方を招致することも必要だろうと思っている。

〈委員〉モニュメントのある正面スペースや中庭の利活用は考えているか。民間が催事で使いたい場合は対応が可能なのか。

〈事務局〉毎年9月に行っている旭川市民1000人の大合唱というものでは、以前は中庭で演奏や合唱を行っていた。

今年は全館使用した団体が広場で食事を取るなどしている。使いたいという要望があれば、相談してほしい。

〈委員〉石田泰尚さんは札幌にも3～4回来ているが、旭川公演のチケットは凄く安く、札幌からも多くの方が来ており、経済効果もあったと思う。クリスタルホールはJRの便や立地も良いので、旭川市民向けだけではなく市外からの集客もお願いしたい。

(4) その他の事業について

〈議長〉議事(4)について、事務局から説明願う。

〈事務局〉議案書の6ページに基づき報告。

〈議長〉議事(4)について、意見等の発言を願う。

〈委員〉コンサートボランティアの利用は使用する団体が決めるのか。また、いつまでに申し出ればいいのか。

〈事務局〉使用申込みに来た際に、ボランティアの制度があることを伝え、利用の有無を確認している。

〈委員〉ボランティアは、都合の合う方だけが参加するのか。参加できる方がいない場合は主催者で用意してくださいということになるのか。

〈事務局〉そのとおり。

〈委員〉ボランティアは何のために作っているのか。利用を担保できる仕組みを構築すべきではないか。ボランティア利用に関するシステムを見直す予定はあるか。

〈事務局〉制度を考え直したいと思うが、ボランティアは強制できるものではない。市にはボランティアに協力してもらっている事業が他にもあるが、ボランティアの確保が難しくなっている。おそらく定年の延長などの理由で、ボランティアに時間を割ける方の年齢層が上がったり、減少してきていると思われる。

ボランティアが少なくなっているのも、希望に沿えない場合もあるという注釈付きでの案内になる。また、ボランティアの方を増やすためのPR活動も工夫して取り組んでいきたい。

(5) その他

〈議長〉議事(5)その他について、事務局から説明願う。

〈事務局〉令和7年度に音楽堂、大会議室、第2・第3会議室の照明器具のLEDへの更新を予定しており、音楽堂は令和8年1月・2月、大会議室は2月・3月、第2・第3会議室は2月を使用休止期間とする。

〈議長〉説明のあった事項について、意見等の発言を願う。

〈委員〉全体をとおして、やれることやれないことがあると思うが、やれないと言うのは簡単なもので、良くするために何ができるのかを考えてほしい。

〈事務局〉了解した。

5 その他

〈議長〉事務局、委員より何かあるか。

〈事務局〉令和8年10月に全庁的な使用料手数料の改定が予定されている。パブリックコメントは11月21日から12月29日まで行われる予定。12月18日には、市民文化会館とクリスタルホール合同で個別説明会を行う。

クリスタルホールの使用料改定内容について、委員の皆さんに説明したく、第2回会議を12月中に開催したいと考えている。

〈議長〉よろしいか。

～意見等無し～

6 閉会